



アンチエイジングのための抗酸化作用 漢方の応用

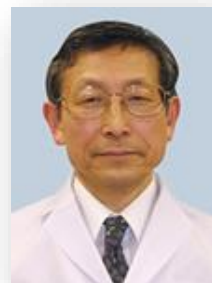
私は漢方薬に関するこれまでの基礎研究のなかで、七物降下湯が抗酸化作用を持ち、血管を障害する悪玉の生体内成分である非対称性ジメチルアルギニン（ADMA）レベルを低下させることを報告してきました。さらにその作用機序として、当帰（トウキ）、黄耆（オウギ）、地黄（ジオウ）などの生薬に悪玉のADMAを分解する、善玉酵素DDAH2の生産を高めるはたらきがあることを見いだしました。これらの生薬を含む七物降下湯や八味地黄丸、牛車腎気丸には血管系保護やアンチエイジング作用が期待されます。

日時 2月26日(木) 14:00～15:00 (13:00 開場)

場所 国際医療福祉大学熱海病院 地下一階大会議室

講師 血液浄化センター長、国際医療福祉大学教授
腎臓内科・漢方内科

小野 孝彦 医師



滋賀医科大学卒、京都大学薬学研究科修士課程修了、医学博士
静岡県立大学・名古屋市立大学客員教授、福井大学医学部非常勤講師
元京都大学医学部附属病院院内講師

日本腎臓学会認定指導医・腎臓専門医、日本透析医学会認定指導医・透析専門医、
日本東洋医学会認定指導医・漢方専門医、日本高血圧学会認定指導医・高血圧専門医、
日本内科学会認定指導医・総合内科専門医・内科医、厚生労働省認定臨床研修指導医、
日本医師会認定産業医、インфекションコントロールドクター

※定員100名：事前申込み制（当日参加可）



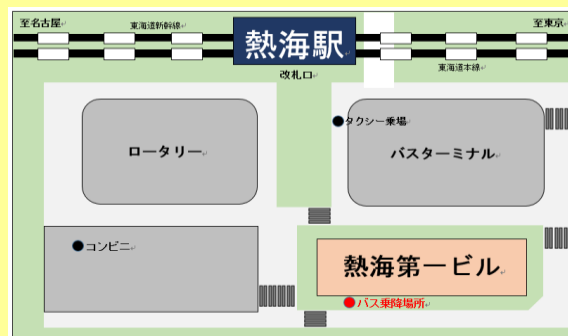
国際医療福祉大学熱海病院

〒413-0012 熱海市東海岸町13-1

電車：JR 東海道新幹線/JR 東海道線「熱海駅」より徒歩8分

バス：JR 熱海駅より「大学病院前」下車

申込先：**0557-81-9171**



熱海駅より無料送迎バスを運行